

見守り 新鮮情報

現在自宅にソーラーパネルを設置している。そのメンテナンスをすると訪問して来た人から「電気料金も年々上がっているので、**蓄電池**を購入しないか」と勧められ、約**250万円**を**13年**の**分割払い**で支払うという

契約をした。しかし、よく考えたら、自分たちも**歳を取って**おり、**支払い**も**難しくなる**ので、高額な契約はやめたほうがよいと思った。解約したい。
(60歳代)



©Kurosaki Gen

先々の負担も考慮して! 家庭用蓄電池の契約

ひとこと 助言



見守るくん

メリットと
デメリットを
よく考えよう

- 家庭用蓄電池の導入で、電気料金が安くなる等のメリットがあるとしても、購入費用や設置工事等の初期費用の他、ローンの利息、メンテナンス費用など様々な費用が発生します。契約に当たっては、先々かかるコストも考慮し、慎重に検討し、納得した上で契約しましょう。
- 家庭用蓄電池は、災害時に活用できるなどの経済価値に換算できないメリットもあります。自分自身でも情報収集し、総合的に判断しましょう。
- 設置する場合は、複数社から見積もりを取り、比較検討した上で契約することが大切です。
- 困ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン 188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第456号(2023年7月11日)発行：独立行政法人国民生活センター

米子市消費生活相談室

☎0859(35)6566